

12 ( '11 札幌医科大 )

【難易度】… 標準

1 から  $n$  までの番号が書かれた  $n$  個の箱があり、各々の箱には  $2n$  本のくじが入っている。番号が  $l$  の箱には  $l$  本の当たりが入っているとす。この条件で次の ①, ② を試行する。

① 無作為に箱を 1 つ選ぶ。

② ① で選んだ箱を用いて、くじを 1 本引いては戻すことを  $m$  回繰り返す。

この試行で  $k$  回当たりくじを引く確率を  $p_n(m, k)$  とする。

(1)  $\lim_{n \rightarrow \infty} p_n(2, 0)$ ,  $\lim_{n \rightarrow \infty} p_n(2, 1)$ ,  $\lim_{n \rightarrow \infty} p_n(2, 2)$  をそれぞれ求めよ。(2)  $\lim_{n \rightarrow \infty} p_n(m, 1)$  を  $m$  を用いて表せ。

【テーマ】: 確率と区分求積法

方針

普通に和を計算することもできますが、区分求積法を用いて定積分で計算したほうが楽に求められます。

解答

(1)  $p_n(2, 0)$  は 2 回くじを引いて当たりが出ない確率であるから、

$$p_n(2, 0) = \frac{1}{n} \sum_{\ell=1}^n \left( \frac{2n-\ell}{2n} \right)^2 = \frac{1}{n} \sum_{\ell=1}^n \left( 1 - \frac{\ell}{2n} \right)^2$$

$$\lim_{n \rightarrow \infty} p_n(2, 0) = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n} \sum_{\ell=1}^n \left( 1 - \frac{\ell}{2n} \right)^2$$

$$= \int_0^1 \left( 1 - \frac{1}{2}x \right)^2 dx$$

$$= \left[ \frac{-2}{3} \left( 1 - \frac{1}{2}x \right)^3 \right]_0^1$$

$$= -\frac{2}{3} \cdot \frac{1}{8} + \frac{2}{3}$$

$$= \frac{7}{12} \dots \dots (\text{答})$$

 $p_n(2, 1)$  は 2 回くじを引いて当たりが 1 回出る確率であるから、

$$p_n(2, 1) = \frac{1}{n} \sum_{\ell=1}^n \frac{2\ell(2n-\ell)}{(2n)^2} = \frac{1}{n} \sum_{\ell=1}^n \frac{1}{2} \cdot \frac{\ell}{n} \left( 2 - \frac{\ell}{n} \right)$$

$$\lim_{n \rightarrow \infty} p_n(2, 1) = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n} \sum_{\ell=1}^n \frac{1}{2} \cdot \frac{\ell}{n} \left( 2 - \frac{\ell}{n} \right)$$

$$= \int_0^1 \frac{1}{2} x(2-x) dx$$

$$= \frac{1}{2} \left[ x^2 - \frac{1}{3}x^3 \right]_0^1$$

$$= \frac{1}{2} \cdot \frac{2}{3}$$

$$= \frac{1}{3} \dots \dots (\text{答})$$

 $p_n(2, 2)$  は 2 回くじを引いて 2 回とも当たる確率であるから、

$$\begin{aligned}
 p_n(2, 2) &= \frac{1}{n} \sum_{\ell=1}^n \left( \frac{\ell}{2n} \right)^2 \\
 \lim_{n \rightarrow \infty} p_n(2, 2) &= \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n} \sum_{\ell=1}^n \frac{1}{4} \left( \frac{\ell}{n} \right)^2 \\
 &= \int_0^1 \frac{1}{4} x^2 dx \\
 &= \left[ \frac{1}{12} x^3 \right]_0^1 \\
 &= \frac{1}{12} \dots\dots(\text{答})
 \end{aligned}$$

(2) (1) と同様に考えると、 $p_n(m, 1)$  は  $m$  回くじを引いて、1 回当たる確率であるから、

$$\begin{aligned}
 p_n(m, 1) &= \frac{1}{n} \sum_{\ell=1}^n {}_m C_1 \frac{\ell(2n-\ell)^{m-1}}{(2n)^m} = \frac{1}{n} \sum_{\ell=1}^n \frac{1}{2^m} \cdot \frac{m\ell}{n} \left( 2 - \frac{\ell}{n} \right)^{m-1} \\
 \lim_{n \rightarrow \infty} p_n(m, 1) &= \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n} \sum_{\ell=1}^n \frac{m}{2^m} \cdot \frac{\ell}{n} \left( 2 - \frac{\ell}{n} \right)^{m-1} \\
 &= \int_0^1 \frac{m}{2^m} x(2-x)^{m-1} dx \\
 &= \frac{m}{2^m} \int_0^1 (2 - (2-x))(2-x)^{m-1} dx \\
 &= \frac{m}{2^m} \int_0^1 \{ 2(2-x)^{m-1} - (2-x)^m \} dx \\
 &= \frac{m}{2^m} \left[ \frac{-2}{m} (2-x)^m + \frac{1}{m+1} (2-x)^{m+1} \right]_0^1 \\
 &= \frac{m}{2^m} \left( -\frac{2}{m} + \frac{1}{m+1} + \frac{2^{m+1}}{m} - \frac{2^{m+1}}{m+1} \right) \\
 &= \frac{m}{2^m} \left( \frac{-m-2}{m(m+1)} + \frac{2^{m+1}}{m(m+1)} \right) \\
 &= \frac{2^{m+1} - m - 2}{2^m(m+1)} \dots\dots(\text{答})
 \end{aligned}$$

◇ ————— ♡

(2) は、(1) と同様の考え方で求められます。(1) での勘違いが致命的になるので、題意を正確に把握して計算をしましょう。区分求積法であることが見抜ければ計算も比較的容易にすみます。(2) では、式がやや複雑になるので、少し技巧的な式変形を行っています。これは、しばしば用いられる式変形なので、できるようにしておくとな強力な武器になるでしょう。例としては、

$$\int_{\alpha}^{\beta} (x-\alpha)(x-\beta) dx = -\frac{1}{6}(\beta-\alpha)^3$$

を証明する際、

$$(x-\alpha)(x-\beta) = (x-\alpha)(x-\alpha+\alpha-\beta) = (x-\alpha)^2 + (\alpha-\beta)(x-\alpha)$$

と変形することで積分計算が楽になります。